

令和8年2月18日

四国中央市議会議長 眞鍋 幹雄 様

四国中央市長 大西 賢治



「観光振興の取組について～観光振興計画の策定～の提言」
に対する反映状況の報告

四国中央市議会より提言のあった件について、下記のとおり報告いたします。

記

1. 観光振興計画を策定すること

本市が持つ観光資源を改めて整理し、持続可能な観光が実現できるような計画を早急に策定してください。

市内の観光資源については、従来の視点にとらわれることなく、総合的かつ多角的な視点から調査を実施いたします。具体的には、豊かな自然環境、歴史文化、食文化の各分野において、本市独自の強みを活かせる資源を重点的に洗い出し、優先順位を明確にした上で施策展開を図ります。そのなかで短期的に効果が期待できるものから段階的に取り組み、早期に持続可能で実効性の高い観光施策が実行できるよう努めてまいります。

計画策定においては、同規模自治体の先進事例や課題を十分に研究し、参考とすべき点を抽出すると同時に、市民の皆様をはじめ、観光関連事業者、商工団体、農業関係者、文化団体等の各種団体からの意見聴取を丁寧に実施し、地域の声を十分に反映した素案を策定いたします。

これらの一連のプロセスを丁寧かつ着実に進めるため、計画策定には概ね2年程度の期間を要する見込みではありますが、拙速を避け、実効性と継続性を重視した質の高い計画づくりに取り組んでまいります。

2. 策定にあたっての留意点

(1) 重要課題を明確にすること

計画の基礎となる解決すべき課題や、行政として重点的に取り組むべきテーマを明確化してください。本市が持つ観光資源や地域特性を分析し、全国的な観光市場の動向を見据えた上で、具体的な目標を設定する必要があります。また、関係者が共有できる具体的な方向性を提示するなどして、計画の効果を最大化できるよう努めてください。

本市の観光振興を進める上で、観光入込客数の伸び悩み、既存観光コンテンツの周知不足、宿泊を伴う滞在型観光の整備推進などが解決すべき課題となりますが、本市には、それらを解決できる可能性を秘めた施設、道の駅「霧の森」が存在します。

四国のまんなかという地理的特性を持つことで、四国四県への交通アクセスの良さや周遊観光の拠点として、県内外から多くの観光客を集客するなど、観光振興の一翼を担っていております。

加えて、豊かな自然環境、歴史ある文化財、地域に根ざした伝統行事、新宮茶をはじめとする特産品など、多様な地域資源も有しています。

これらを最大限に活かし、本市の特色を前面に打ち出した実効性の高い計画策定に努めてまいります。

(2) 具体的指標を設定すること

計画の進捗や成果を客観的に評価するため、重要目標達成指標 (KGI) や重要業績評価指標 (KPI) を可能な限り数値で具体化してください。定期的に進捗状況を検証できる仕組みを導入することで、計画の実効性を高めてください。

重要目標達成指標 (KGI) については、観光入込客数、宿泊者数、観光満足度等を設定し、目標達成の進捗を具体的な数値で把握できるようにしてまいります。

一方、重要業績評価指標 (KPI) については、SNS 投稿数、観光施設利用者数、イベント参加者数等を具体的な数値目標として設定し、日常的な取り組みの成果を継続的に把握してまいります。

なお、これらの指標については、定期的な検証と包括的な評価を実施し、必要に応じて目標値の見直しや施策の軌道修正を行い、計画の実効性を確保してまいります。

(3) 実効性と本市の特性を重視すること

計画策定及び事業実施において外部委託に過度に依存するのではなく、本市独自の観点や特性を活かした「身の丈に合った計画」を策定することが肝要です。市職員や地域住民が主体となり、本市ならではの地域資源と新たな磨きをかけるための知恵を出し合うことで、計画の実効性をより高めることにもつながると考えます。そのため、地域団体など幅広い関係者と連携し、地域全体で協力して取り組む体制を構築してください。

計画策定については、市職員が主導的な役割を担い、地域特性や課題を十分に踏まえた実効性の高い計画づくりを進めることで、本市独自の観点を重視した「身の丈に合った計画」の策定に取り組みます。

その過程においては、既存の祭りや伝統行事の活用、新宮茶をはじめとする特産品のブランド化に加え、これまで十分に活用されていない隠れた地域資源の発掘と磨き上げを積極的に実施し、本市独自の持続可能な観光振興を目指します。

(4) 観光振興を強化する組織体制を構築すること

本市全体の観光振興を強化するためには、持続可能な観光の促進や地域人材の育成に積極的に取り組む観光戦略が必要です。そのため、旧自治体の観光協会の枠にとらわれない、公益性と独立性を兼ね備えた組織運営を要望します。行政、事業者、地域団体との連携強化を進めるとともに、民間の経営センスを取り入れた専門的かつ効率的な運営を参考にしながら、市全体の観光振興の中核を担う組織の再構築に向けて準備を進めてください。

市として話題性のある観光マーケティング、魅力的なイベント企画、戦略的な情報発信等を効率的に推進するには、公益性と独立性を兼ね備えた組織体制の構築が喫緊の課題であります。

そのため、現在、観光振興を先導している観光協会の皆様とは、これまで以上に行政と共に観光振興の中核を担って頂きながら、民間主導の独立性を持った新しい組織の発足にも尽力頂くことで、従来とは異なる観光資源の発掘・周知・広報を自律的に行う組織体制への変革を目指します。